

保証書

型番 PRV-203

持込修理

保証期間(本体)	お買い上げ日より1年間		
※お買い上げ日	西暦	年	月 日
お客様	ご住所	〒□□□□-□□□□	
	ご芳名	様	
販売店	ご住所	TEL () - () ()	
	店名	様	

※販売証明書と一緒に保管をお願いします。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。

<無料修理規定>

- 取扱説明書や注意ラベルに従った正常な使用状況で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内の無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、ユアサプライムス株式会社にお問い合わせください。
- 保証期間内であっても次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の移動にともなう落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 本書のご提示がない場合。
 - (ホ) 本書のお買い上げ日、お客様名、販売店名などの記入のない場合や字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 一般家庭用以外(業務用の使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- (ト) 消耗品を交換する場合。
- (チ) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
- 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書を発行している発売元(保証責任者)又は、事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げ販売店または、ユアサプライムス株式会社にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お願い

一度で使用になった製品は、返品をお受けすることができませんのであらかじめご了承ください。但し、明らかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換する準備がございます。また、保証期間の終了後や取り扱いの間違ひによる故障(本体の水洗いなど)などの修理は、できる限りお客様の負担の少ないように(部品代、送料など)お見積りをご連絡し、了解を頂いた後に速やかに修理させていただきます。

ユアサプライムス株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番8号
http://www.yuasa-p.co.jp/

お客様ご相談窓口について

- 修理、お取り扱い、消耗品、部品ご購入などのご相談は、まずは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
- 転居や贈答品などでお困りの場合は、弊社お客様ご相談窓口であります、下記サービスセンターへお問い合わせください。
- アフターサービスについては、取扱説明書の中でご説明しておりますのでご覧ください。

お客様ご相談窓口

受付時間：午前10時～12時・午後1時～5時



0120-988-475

- ・サービス向上のため、音声を録音させていただくことがあります。
- ・土日・祝日、年末年始、お盆休暇を含む当社の休日は休業とさせていただきます。

D-100

YUASA PRIMUS

オーブンレンジ

型番

PRV-203

取扱説明書(保証書付)

一般家庭用

(業務用としては使用しないでください)

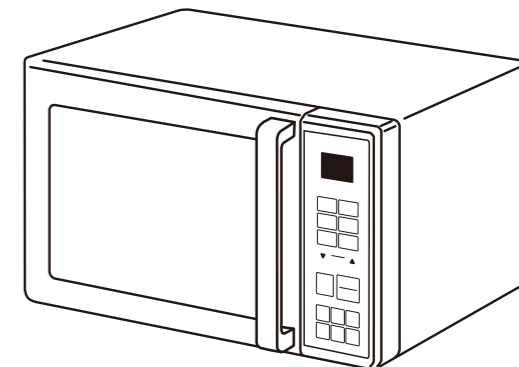
このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。とくに「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みいただき正しく安全にお使いください。この説明書には保証書も付いておりますので、大切に保管してください。

経年劣化によるご注意

長年使用している製品は、火災等の事故につながるおそれがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため必ず点検することをおすすめします。ご使用環境及びご使用时间などが異なるため、点検時期、点検方法及び点検費用については販売店または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

もくじ

安全上のご注意	1-7
各部のなまえ	8-9
重量センサーの「0点調節」のしかた	10
チャイルドロック機能	10
空焼きのしかた	11
使える容器・使えない容器	12
加熱のしくみ	13
使い方 レンジ加熱	14-15
使い方 自動メニュー	16-21
使い方 手動調理	22-25
調理時のポイント	26
お手入れのしかた	27
転居されるときは	27
故障かな?と思ったら	28
仕様	29
アフターサービスについて	30
安全に末永くお使いいただくために	30
保証書・お客様ご相談窓口について	裏表紙






- イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意





ご使用前に次の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や物的損害を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

絵表示について

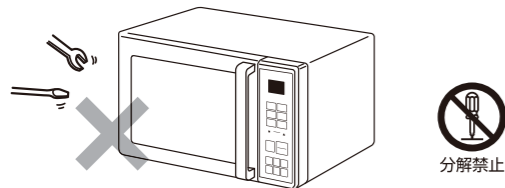
-   この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-   この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

危険

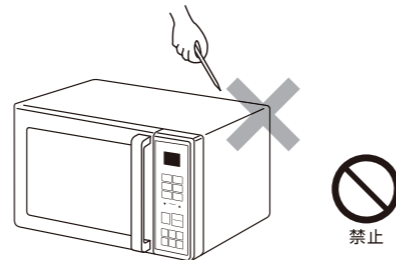
修理技術者以外の方が、分解・改造・修理をしない。

- 火災・感電・ケガの原因になります。本体や、ドアなどの分解・修理・改造を行うのは危険です。また、キャビネットを外した状態では絶対に使用しないでください。修理はお買い上げの販売店または、お客様修理ご相談窓口にご相談ください。



吸気口・排気口にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない。

- 感電・ケガの原因になります。異物が中に入ったときは、使用を中止しお買い上げの販売店にご相談ください。



警告

ドアやドアのすき間が破損した場合は使用しない。

- 必ず修理を依頼し、修理後に使用してください。電波が漏れ、人体に障害をあたえるおそれがあります。



●レンジ加熱のとき●

密封容器に液体食品を入れて加熱しない。

- 爆発するおそれがあります。



アフターサービスについて

修理を依頼される時

28ページの表に従ってご確認ください。それでも異常がある場合は、ご使用中を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。なお、食品の補償等製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間：お買い上げの日から本体/1年間 発振管(マグネトロン)/2年間

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。(注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料

診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代

修理に使用した部品および補助材料代です。

配送料

修理品を回収、およびお届けする費用です。

●「ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて」

ユアサプライムス株式会社は、お客様の個人情報や相談内容を、ご相談への対応や修理、その他確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示、提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

安全に末永くお使いいただくために

愛情点検



★長年ご使用の『オーブンレンジ』の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深いキズや変形がある
- 異常な音や焦げくさい臭いがする
- 自動的に切れないことがある
- スパーク(火花)や煙が出ることもある
- その他異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

仕様

共通仕様	種類	オーブンレンジ
	型番	PRV-203
	定格電圧	AC100V
	定格周波数	50/60Hz
	加熱室有効寸法	約幅280×奥行286×高さ168mm
	ターンテーブル直径	約272mm
	外形寸法	約幅461×奥行360×高さ293mm
	電源コード 質量	約1.5m 約13.1kg
電子レンジ	定格消費電力	920/1250W(50/60Hz)
	定格高周波出力	500W/650W(50/60Hz)
	発振周波数	2450MHz
グリル	定格消費電力	1250W(50/60Hz)
	ヒーター出力	1200W(上750W 下450W)
オーブン	定格消費電力	1250W(50/60Hz)
	ヒーター出力	1200W(上750W 下450W)
	温度調節	40℃(発酵)、100~200℃

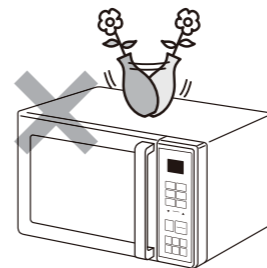
消費電力量の目安	
区分名	B
電子レンジ機能の年間消費電力量	62.3kWh/年(50/60Hz)
オーブン機能の年間消費電力量	10.5kWh/年(50/60Hz)
年間待機消費電力量	0kWh/年(50/60Hz)
年間消費電力量	72.8kWh/年(50/60Hz)

- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による値を表示しております。
- 区分名は省エネ法に基づき、機能、加熱方式、および庫内容積の違いで分かれています。
- 製品の外观および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

警告

上に水などの液体の入った容器を置かない。

- こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電・火災のおそれがあります。



禁止

梱包されていたポリ袋は、幼児の手の届くところに置かない。

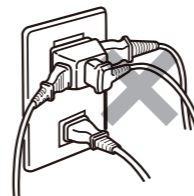
- 中に入ったり、頭からかぶるなどして、窒息する原因になります。



禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

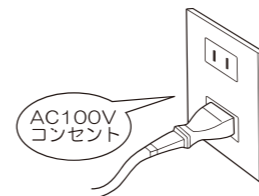
- 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で

交流100V以外で使用しない。

- 火災の原因になります。



禁止

使用前に、包装材は全て取り除く。

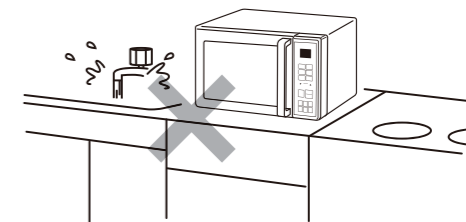
- 変形・発火・火災の原因になります。



指示

水のかかるところや火気の近くで使用しない。

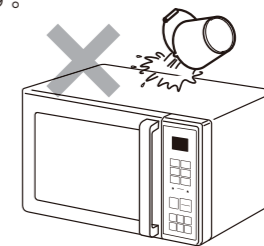
- 感電・火災の原因になります。



禁止

本体や庫内に水をかけない。

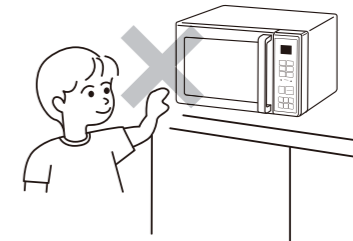
- 電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災のおそれがあります。



水かけ禁止

補助を必要とする人や、子どもだけで使わせない。

- 誤操作による危害を認識し安全に操作できない人や子どもだけでは使わせないでください。必ず、大人の方(安全に責任を負う人)の監督のもと使用してください。感電・ケガ・やけどの原因になります。



禁止

燃えやすいもの、熱に弱いものを近づけない。

- 焦げや火災の原因になります。じゅうたん・畳・テーブルクロスの上に置いたり、カーテンなどの近くに置かないでください。

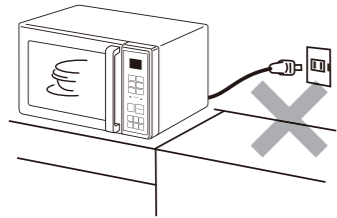


禁止

警告

調理中は絶対に、電源プラグを抜き差ししない。

- 感電や火災の原因になります。



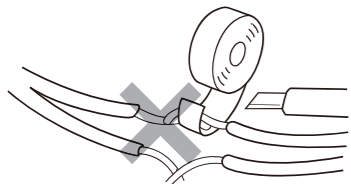
電源コードは、排気口や温度の高い部分に近づけない。

- 火災・感電の原因になります。



電源コードは束ねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない。

- 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



異常時(こげ・臭い等)は、運転を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

- 異常のまま運転を続けると、故障・感電・火災の原因になります。また、スプレー缶は引火や破裂のおそれがあるため、近づけないでください。



プラグを抜く

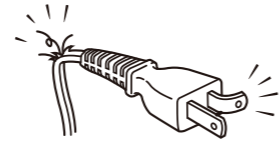
庫内を常に清潔な状態に保つ。

- オープンレンジ(特に庫内)は定期的に清掃し、食品くずなどは必ず取り除いてください。
- 庫内に汚れがあると機器に損傷が発生したり、機器の寿命に悪影響を及ぼし危険な状態になるおそれがあります。



電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。すぐにお買い上げの販売店、またはお客様修理ご相談窓口にご相談ください。修理技術者以外の方が、修理をしないでください。



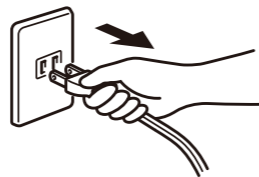
電源プラグを本体で押しつけない。

- 傷つき、過熱・火災の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 感電やケガをするおそれがあります。



電源プラグは、濡れた手で抜き差ししない。

- 感電やケガをするおそれがあります。



ぬれ手禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面のほこりが付着している場合はよく拭く。

- 火災の原因になります。



ほこりを取り除く

故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記のことを確認してください。

こんなとき	おたしかめください
まったく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源プラグが抜けていませんか? ■ 停電ではありませんか? ■ プレーカーが落ちていませんか? ■ 加熱中にドアを開閉しませんでしたか?
キーを押しても何も反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 表示部は「0」を表示していますか? →自動電源オフ機能が働いている場合は、ドアを開閉し「0」表示が出てから操作してください。
「スタート」キーを押しても加熱しない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドアがきちんと閉まっていますか? →再度ドアを閉めなおしてください。 ■ メニューは選びましたか?(出力、時間の設定はしましたか?)
すぐに加熱が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 庫内が熱いときは、温度センサーが働き加熱を止めることがあります。 →ドアを開けて庫内を冷ましてから加熱してください。
回転しない 回転にムラがある	<ul style="list-style-type: none"> ■ 回転台・ターンテーブルを正しくセットしていますか? ■ 食品(容器)が庫内の壁に触れていませんか?
食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金属容器やアルミホイルを使っていませんか?
レンジ調理のときに火花が出る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金属容器やアルミホイルを使っていませんか? ■ 金粉・銀粉などの飾りの付いた容器を使っていませんか?
煙が出る いやな臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ■ ご購入後に空焼きされましたか? ■ 庫内やドアに、食品カスや煮汁などの液体・油が付いていませんか?
加熱中に上ヒーターがついたり消えたりする	<ul style="list-style-type: none"> ■ メニューによりヒーター出力を調節しています。故障ではありません。
加熱中に「カチカチ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機械のスイッチ切替音です。故障ではありません。
加熱中に庫内から「ポコン」と鳴ったりきしむような音がする	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヒーター(オープン/グリル)加熱しているとき、熱で庫内壁面が膨張すると音がすることがあります。本体に影響はありません。
ドアがくもり水滴が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食品から出た水分や水蒸気によるもので、本体に影響はありません。
加熱終了後に「ブーン」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本体内部のファンが回っている音です。故障ではありません。
何も表示していない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドアを閉めてしばらくすると自動的に待機状態になります。(自動電源オフ機能) →ドアを開閉して、「0」表示がでてから操作してください。

エラー表示(エラー音が鳴ります)

こんなとき	おたしかめください
E00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「0点調節」時に、回転台とターンテーブルがセットされていません。 →確実にセットして「0点調節」してください。 ※ ターンテーブルの上にはなにも置かないでください。
E01	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食品の量が多すぎます。→「取消」キーを押して、分量を減らしてください。
E02	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食品の量が少なすぎます。→「取消」キーを押して、分量を増やすか、加熱時間を減らしてください。(100g以下はエラーになります) ■ 100g未満の食品を加熱する時は、皿やカップなどに入れて合計100g以上にし、手動メニュー(レンジ)で様子を見ながら加熱してください。
E03~E07	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製品が故障している場合があります。→ご使用を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または弊社「お客様ご相談窓口」へご相談ください。

お手入れのしかた

警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、また濡れた手で抜き差ししない。

- 感電やケガをするおそれがあります。



本体や庫内に水をかけない。

- 電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災の原因になります。



庫内・ドアの内側

- 固くしぼったぬれふきんで拭いてください。
- 庫内底面は、ターンテーブル・回転ローラーを外して拭いてください。
- 落ちにくい汚れは、ぬれふきんをのせ、ふやかしてから拭いてください。

キャビネット（本体）

- 固くしぼったぬれふきんで拭いてください。
- 洗剤を使用した後は、十分に拭き取ってください。
- 吸気口に付いたほこりは定期的に拭き取ってください。

ドア

- 固くしぼったぬれふきんで拭いてください。
- 洗剤を使用した後は、十分に拭き取ってください。

ターンテーブル・回転ローラー

- スポンジたわしで水洗いし、十分に拭き取ってください。
- ターンテーブルは陶器製ですので、取り扱いには充分ご注意ください。

ご注意

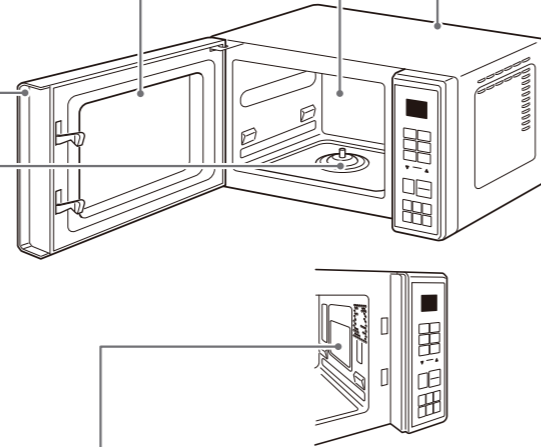
- 揮発性のあるものは使わないでください。ベンジン・シンナー・アルコールなどを使用すると、変形・発煙・発火の原因になります。
- 洗剤をお使いになる場合は、台所用中性洗剤（食品、野菜、調理器具用）をうすめて使用してください。
- スチームクリーナーを使用しないでください。

電源プラグ・コードの安全点検

- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
- 電源プラグがコンセントに根元まで確実に差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していませんか？

雲母板（うもぼん）

- 電波の出口を保護しているカバーです。
- 食品カスがついたまま使用すると、発煙・発火しやすいため、こまめにお手入れしてください。
- このカバーは絶対に外さないでください。



転居されるときは

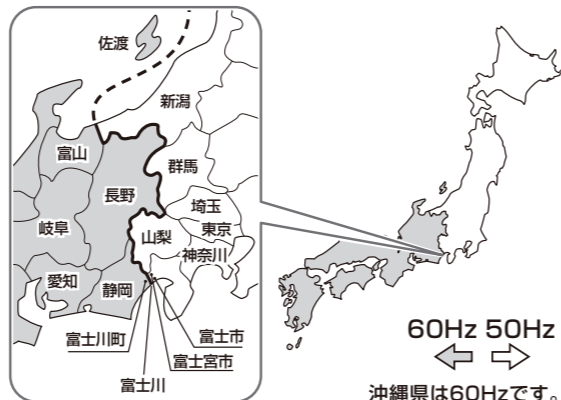
このオープンレンジの最大出力は、電源周波数50Hzまたは60Hzによって変わります。

50Hz	500W	200W	200W
60Hz	650W	500W	

- 引越などで電源周波数が変わりますと、レンジ加熱時の最大出力も変わります。
- 引越などで移転先の電源周波数が不明なときは、お近くの電力会社にお問い合わせください。
- 必ずアース線を取り付けてください。
- 電源周波数は東日本では50Hz、西日本では60Hzです。（右図参照）

静岡県での50Hzと60Hzの境界

- 50Hz地域 富士市、富士宮市、富士郡芝川町以東
- 60Hz地域 静岡市清水区、庵原郡富士川町、由比町以西



警告

アースを確実に取り付ける。

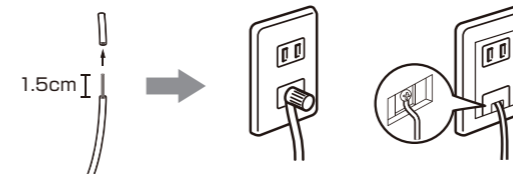
- アースを取り付けないと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。



アースの接続について

■ コンセントにアース端子があるとき

- アース線先端の皮をむき、コンセントのアース端子に確実に接続してください。
- ふた付きの場合は開けてつないでください。



■ コンセントにアース端子がないとき

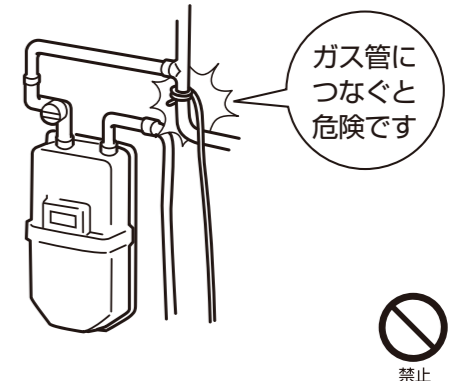
- お買い上げの販売店にアース工事（有料）を依頼してください。アース工事（D種接地工事）は電気工事士の資格が必要です。

次の場所で使う時は、必ずアースおよび漏電しゃ断器を取り付けてください。

- 地下室など湿気の多いところ
- 土間やコンクリートの床などの湿気の多いところ
- 洗い場など、水のかかりやすいところ

次のところにはアース線を接続しないでください。

- ガス管 …… 爆発や引火の危険性があります。
- 水道管 …… プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針・電話のアース線 …… 落雷のときに大電流が流れ危険です。



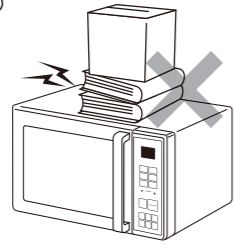
漏電しゃ断器について

水気の多いところに据え付ける場合は、アースの他に漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

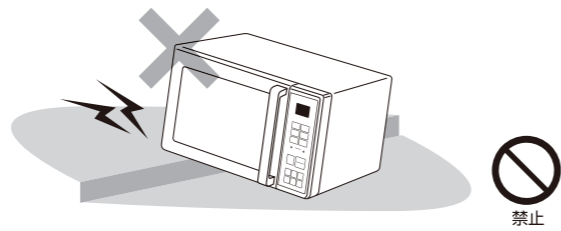
上にものを置いたり、布などをかぶせたりしない。

- 天面は必ず開放してください。変形・発火・火災の原因になります。



不安定な場所に置かない。

- 落ちたり、倒れたりして、ケガをする原因になります。また、置き台からはみ出して設置しないでください。

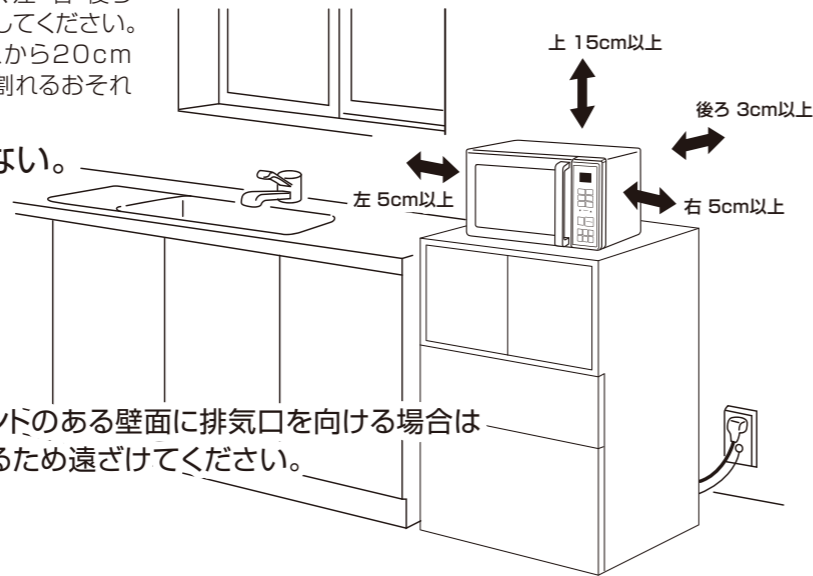


すき間をあけて置く。

- 過熱し火災の原因になります。また、左・右・後ろいずれかの面を必ず開放して設置してください。窓ガラスがある場合は、窓ガラスから20cm以上離してください。(窓ガラスが割れるおそれがあります。)

戸棚の中に置いて使用しない。

- 過熱し火災の原因になります。



熱に弱い家具やコンセントのある壁面に排気口を向ける場合は熱変形するおそれがあるため遠ざけてください。

禁止

お願い

加熱以外の目的に使わないでください。

- 加熱により、発火・発煙・やけどのおそれがあります。

ターンテーブルや容器を急に冷やさないでください。

- 加熱後、庫内にあった丸皿や容器を急に冷やさないでください。ヒビが入ったり、割れたりすることがあります。また、本体ドアに水をかけたりしないでください。

テレビやラジオから3m以上離してください。

- 雑音や映像の乱れの原因になります。

庫内がカラのまま作動させないでください。

- 庫内が異常に高温になり、故障・やけどの原因になります。

本製品の近くでは無線機器(無線LANなど)通信機能が低下することがあります。

- 無線機器の取扱説明書をお読みの上、ご使用ください。

根菜類は、少量での加熱をしないでください。

- 爆発・火花・発火・故障の原因になります。

加熱中は時々庫内を確認してください。

- 加熱しすぎによる容器の変形や発火を防ぐため、時々庫内を確認してください。

調理時のポイント

上手にレンジを使うポイント

■ 上手に調理(加熱)するために…

お弁当などは、1個ずつ温める

- 上下に積み重ねたりすると上手にあたまりません。

容器は必ず確認する

- 発泡スチロールや耐熱性のない容器は、あたためないでください。

ゆでる・煮るなどの調理は、食材の厚みや大きさをそろえる

- 厚みや大きさをそろえることにより、加熱ムラを少なくすることができます。
- 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らすとよりムラなく仕上がります。

加熱の途中で、裏返したりかき混ぜる

- 加熱ムラをすくなくすることができます。

卵はそのまま加熱しない

- 爆発(破裂)し、大変危険です。
- 卵を加熱するときは、よく割りほぐしてください。ゆで卵のあたためもしないでください。

■ 上手に解凍するために…

手動設定で解凍するときは、必ず200Wの出力で解凍する

ラップやふた、飾りは外して解凍する

- 発泡トレイのまま解凍できます。ラップなどに包んで冷凍した食品は、平らな皿にキッチンペーパーなどに敷いた上に食品を置いて解凍してください。

解凍前に常温で放置しない

- 冷蔵庫から出してすぐに解凍することをお勧めいたします。食品から水(汁)が出るなどして風味や鮮度を損なう原因になります。

アルミホイルを上手に利用する

- 形や厚みが均一でない食品は薄いところや細かいところを、厚みのある食品は外周をアルミホイルで包むことにより、解凍ムラを防ぐことができます。

※ アルミホイルは庫内側面やドアに当たらないように注意してください。また通常の加熱調理にはアルミホイルを使わないでください。発火(スパーク)して故障の原因になります。

加熱調理を行った後は、庫内を十分に冷ましてから解凍する

- 加熱調理を行った後に解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内を冷やしてから解凍してください。

野菜をゆでるときのポイント

■ 葉・果・花・茎菜類

洗った後の水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。

葉菜類

- 葉と茎を交互に重ねます。(太い茎には十文字に包丁を入れてください。)
- アクのある野菜(ほうれん草、春菊、小松菜など)は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水に取って色止めをします。
- 量が多いとき(300g以上)は、半分に分けてラップに包んでください。

果・花・茎菜類

- 大きさをそろえて切ります。
- アクのある野菜(なす、ブロッコリー、カリフラワーなど)は、加熱前に食塩水につけてアク抜きをします。
- 色の濃い野菜(さやいんげん、グリーンアスパラガスなど)は加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水に取って色止めをします。

■ 根菜類

ラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。

丸ごとゆでるとき

- 洗って、皮付きのままラップに包みます。
- 2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べます。
- 加熱の途中で一度上下を返します。
- じゃがいも、さつまいも、さといもなどは、加熱後庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らします。

切ってゆでるとき

- 皮をむき、大きさをそろえて切ります。

※ 小さく切ったものや少量で加熱すると、火花が出て焦げたり乾燥することがあります。様子を見ながら加熱してください。

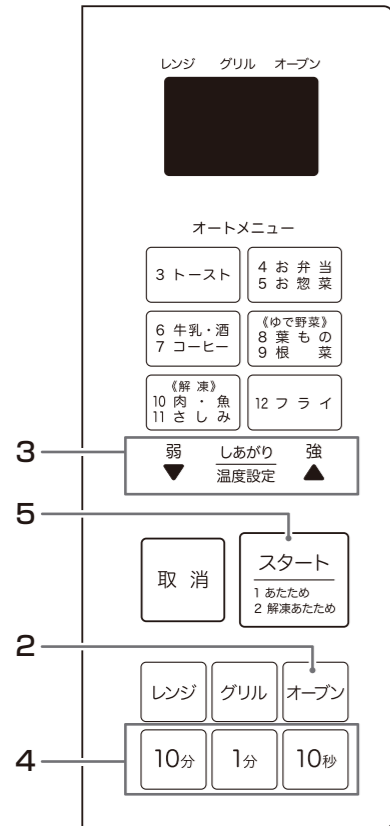


保護装置について

- レンジ加熱の際、連続使用や長時間加熱をすると、電気部品の過熱による故障を防ぐための保護装置が働いて、運転が自動停止することがあります。保護装置が働いたときはしばらくお待ちください。温度が下がると保護装置が解除され、再び使用できるようになります。

使い方 手動調理(オーブン) ※予熱なし・発酵

- 手動で時間を設定してオーブン調理をします。予熱をせずに調理を開始します。調理後で庫内温度が上がっているときや、食品を低温から調理するときを使用します。



1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 オープン を押す

3 弱 しあがり 強 を押して温度を設定する

- 40℃(発酵)、または10℃単位で100~200℃の範囲で設定できます。

4 10分 1分 10秒 を押して時間を設定する

- 設定できる時間は … 90分まで
- 20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

5 スタート を押す

- 庫内が点灯し、加熱が始まります。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※ 加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。

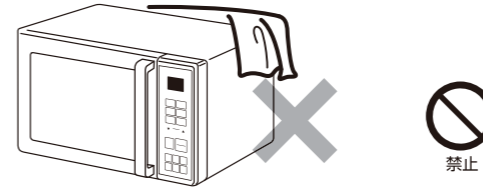
⚠ 注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのでやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているので、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。(発酵を除く)
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

⚠ 注意

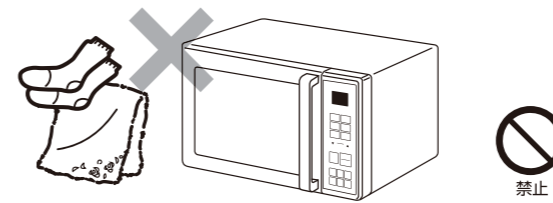
吸気口・排気口をふさがない。

- 内部の温度が上がり、火災の原因になります。



衣類・ふきんの乾燥など、調理以外に使用しない。

- 過熱・異常動作して、発火・火災の原因になります。



ドアに無理な力や衝撃を加えない。

- 本体が倒れてケガをしたり、変形し電波漏れの原因になります。



ターンテーブルに衝撃を加えない。

- 破損したり、落下してケガの原因になります。容器や食器の出し入れのときは、ターンテーブルのふちに当たらないように注意してください。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く。

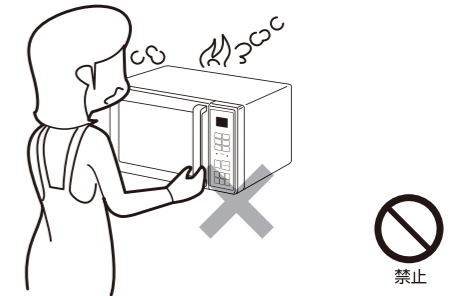
- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



プラグを抜く

庫内で発煙・発火した場合はドアを開けない。

- ドアを開けると勢いよく燃え、火災の原因になります。



発煙・発火してしまったときは、次の処置をしてください。

- ① ドアを開けずに、取消キーを押してください。
- ② 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ 本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待ってください。
- ④ 鎮火しない場合は、水または消火器で消火してください。

処理後は…

- そのまま使用せずに、必ず販売店に点検を依頼してください。

ドアに物をはさんだまま使用しない。

- 電波が漏れ、人体に障害を与えるおそれがあります。



食品・油・煮汁などで汚れたままにしたり、加熱したりしない。

- さびや発煙・発火の原因になります。付着したときは必ずふき取ってください。



長期間で使用にならない場合は、安全のために電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

⚠ 注意

● オープン・グリル加熱のとき ●

加熱や加熱後しばらくは高温のため庫内やキャビネットには触れない。(ドアの取っ手や操作パネルは除く)

- 高温のためやけどの原因になります。



禁止

食品の出し入れはミトン(厚めの手袋)を使う。

- やけどのおそれがあります。また、破れたり濡れているミトンは使わないでください。熱く感じたり、やけどのおそれがあります。



指示

調理後のターンテーブルは、キャビネットや熱に弱いものの上に置かない。

- 焦げや変形の原因になります。



禁止

加熱後のお手入れは、本体や庫内が冷めてから行う。

- やけどのおそれがあります。



指示

● レンジ加熱のとき ●

缶詰、びん詰、レトルト袋の食品は容器に移してから加熱する。

- 発火・破裂して、ケガ・やけどの原因になります。また鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しないでください。発火することがあります。



容器に移す

皮や殻のある食品は、切れ目や割れ目を入れて加熱する。

- 破裂して、ケガ・やけどの原因になります。



指示

容器のふたや栓は外して加熱する。

- 破裂して、ケガ・やけどの原因になります。



ふたを外す

容器の取り出しや、ラップを外すときは注意する。

- 容器が熱くなっていたり、蒸気が一気に出てやけどをするおそれがあります。



高温注意

乳児のミルクなどのあたためは、仕上がり温度を確認する。

- 幼児がやけどをするおそれがあります。よくかき混ぜてから仕上がり温度を確認してください。



指示

加熱しすぎない。

- 飲み物(牛乳・コーヒー・水など)は、ふきこぼれたり、取り出すときに振動で突然沸騰して飛び散り、やけどのおそれがあります。
- 加熱前によくかき混ぜてください。(加熱後は、少し時間をおいてから取り出してください。)
- 少量の食品(ポップコーンなど)、乾物などは発火することがあります。



禁止

卵はそのまま加熱しない。

- 爆発(破裂)して、大変危険です。
- 卵を加熱するときは、よく割りほぐしてください。ゆで卵のあたためもしないでください。



禁止

金属製のもの、アルミホイルなどは使わない。

- 火花が発生して、故障の原因になります。
- ※ただし、アルミホイルの電波を反射する特性を利用して、解凍などに部分的に使うことがあります。



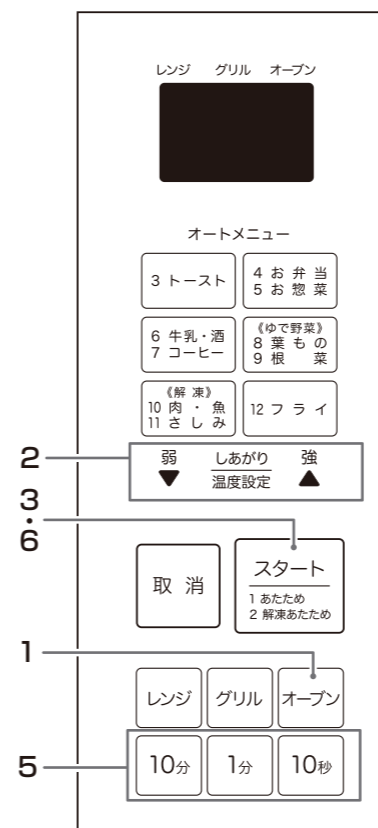
禁止

使い方 手動調理(オープン) ※予熱あり

- 手動で時間を設定してオープン調理をします。予熱をして、庫内温度を上げてから調理します。



- 食品を庫内に入れる時は、やけどをしないようにご注意ください。



1 ターンテーブルを外し、**オープン** を押す

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 予熱のときはターンテーブルを入れしないでください(焼き上がりが悪くなります)。

2 **弱** **しあがり** **強** を押して温度を設定する

- 10℃単位で100℃~200℃の範囲で設定できます。
- ※40℃(発酵)は、予熱あり調理ができません。
- 40℃(発酵)をする場合は、25ページを参照してください。

3 **スタート** を押す

1 あたため
2 解凍あたため

- 庫内が点灯し、加熱が始まります。



予熱完了

- 電子音が2回鳴り予熱の完了をお知らせします。
- 約20分間予熱を保持します(予熱保持終了時にも電子音が鳴ります)。

4 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

5 **10分** **1分** **10秒** を押して時間を設定する

- 設定できる時間は … 90分まで
- 20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

6 **スタート** を押す

1 あたため
2 解凍あたため

- 庫内が点灯し、加熱が始まります。



できあがり(加熱終了)

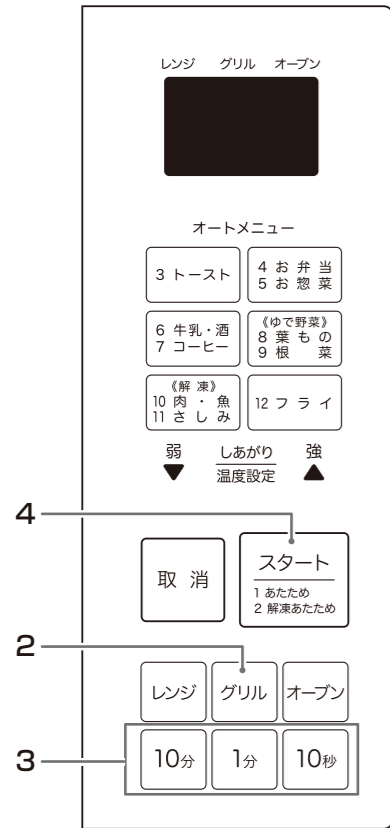
- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
- ※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
- 5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。

⚠ 注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのでやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているので、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 予熱を連続で行わないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

使い方 手動調理(グリル)

●手動で時間を設定してグリル調理をします。



1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

●待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 グリル を押す

3 10分 1分 10秒 を押して時間を設定する

■設定できる時間は…30分まで

●20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

4 スタート を押す

●庫内が点灯し、加熱が始まります。



できあがり(加熱終了)

●電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。

※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。

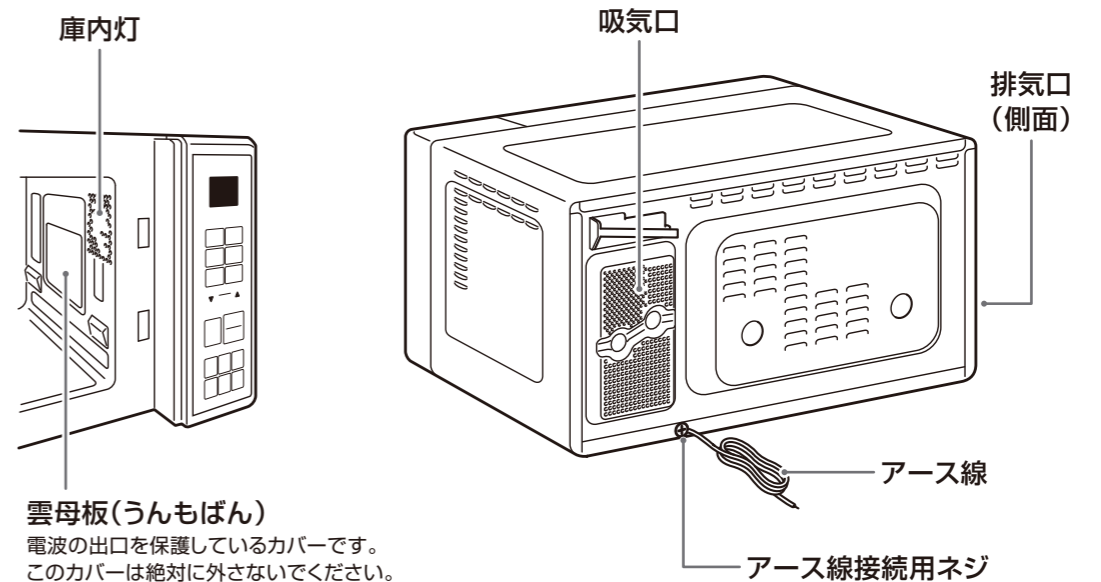
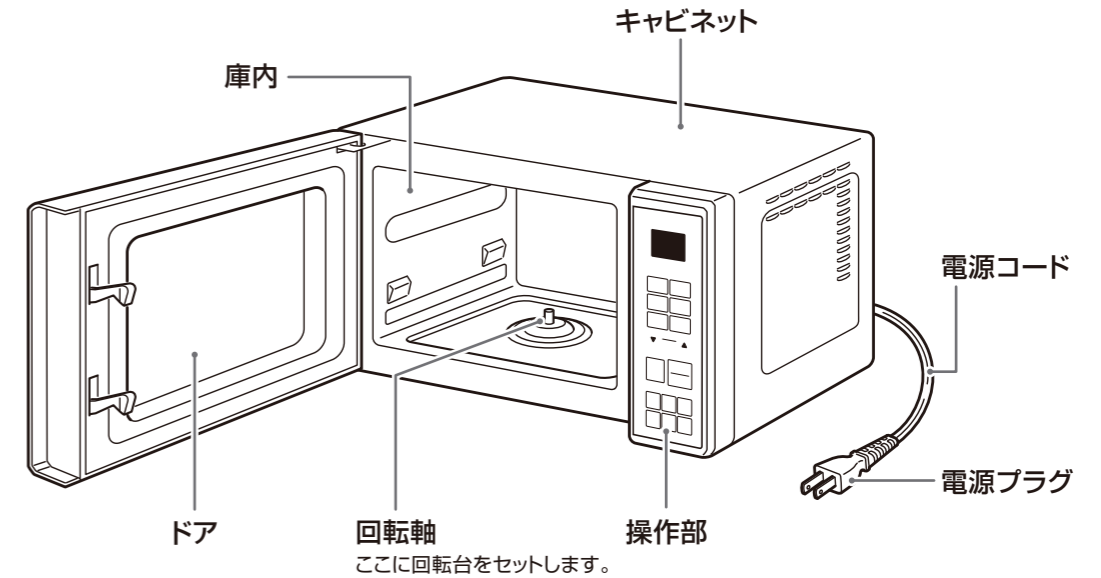
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。

注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているののでやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているのので、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

各部のなまえ

本体



※イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

操作部

自動メニュー キー

温度や時間の設定を自動で行います。

3 トースト	→ 16 ページ	
4 お弁当	5 お惣菜	→ 17 ページ
6 牛乳・酒	7 コーヒー	→ 18 ページ
8 葉もの	9 根菜	→ 19 ページ
10 肉・魚	11 さしみ	→ 20 ページ
12 フライ	→ 21 ページ	

仕上がり/温度調節 キー

自動メニューでの仕上りの強弱の調節や、オープン加熱の温度調節に使用します。

取消 キー

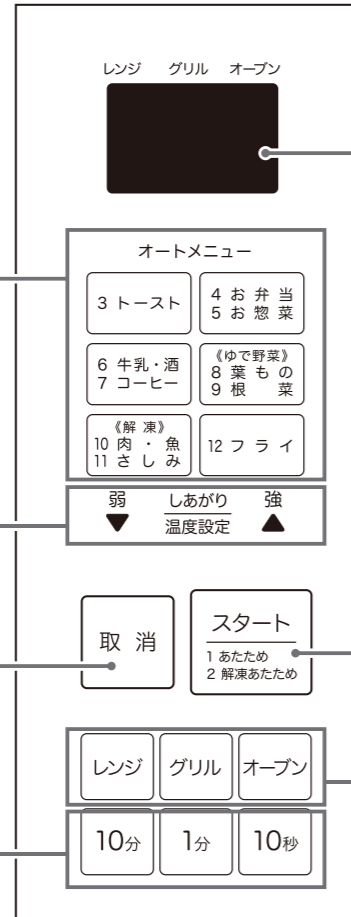
設定を間違えたときや、加熱を途中でやめたいときに使用します。

時間設定 キー

手動調理するときの時間設定に使用します。

自動電源オフ機能

加熱後しばらく何もしないと、自動電源オフ機能がはたらき、待機状態になります。ドアを開閉することで電源が入ります。電源が入ると表示部に「0」と表示します。



表示部

自動メニューの番号や仕上がり調節、時間、温度などを表示します。

あたため/スタート キー

スタート

加熱を開始するときに使います。加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉めスタートキーを押すと加熱を再開します。

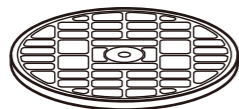
1 あたため / 2 解凍あたため

キーを押すと自動でレンジ加熱を行います。→ 14~21ページ

手動調理 キー

調理に合わせて、手動で時間や温度を設定するときに使います。→ 22~25ページ

付属品



回転台 1枚

庫内にセットし、この上にターンテーブルを乗せて使用します。トーストは、ターンテーブルを乗せずにこの上に直接置いて焼きます。



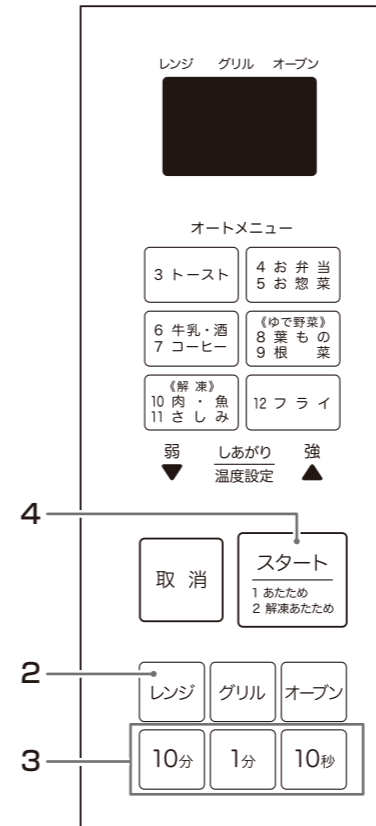
ターンテーブル 1枚

強い衝撃をあたえないように注意してください。特に、容器や食器の出し入れの際は気を付けてください。

使い方 手動調理(レンジ)

●手動で出力と時間を設定して加熱します。

50Hz : 500W/200W (解凍)
60Hz : 650W/500W/200W (解凍)



1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

●待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 レンジ を押す

●押すごとに出力が切り換わります。
●地域によって、出力が異なります(27ページ参照)。

50Hz : 500W/200W



60Hz : 500W/200W/650W



3 10分 1分 10秒 を押して時間を設定する

■設定できる時間は…
650W : 15分まで 500W : 15分まで 200W : 90分まで
●20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

4 スタート を押す

●庫内が点灯し、加熱が始まります。



できあがり(加熱終了)

●電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。

⚠ 注意

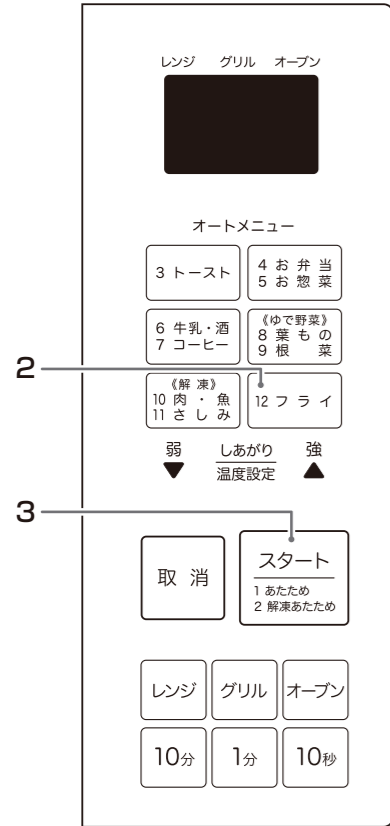
- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのでやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているので、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

使い方 自動メニュー(フライ)

●揚げ物の分量に合わせて加熱します。

一度に加熱できる分量：100～300g

※レンジ加熱とヒーター加熱に使える容器を使用してください。発泡トレイなどは使用できません（12ページ参照）。



1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部に何も表示がない）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 「12 フライ」を押す

- 「12 フライ」メニューが表示されます。



- 仕上がりを調節したいときは…

加熱時間が1～2割短くなります。 加熱時間が1～2割長くなります。

3 「スタート」を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。約15秒後に残り時間が表示されます。



できあがり（加熱終了）

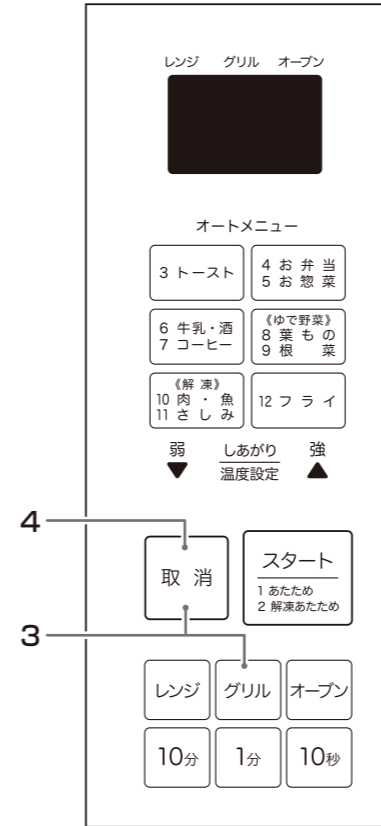
- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。
- 加熱が足りないときは…
グリル手動調理で様子を見ながら加熱してください。（23ページ参照）

⚠ 注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているの、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

重量センサーの「0点調節」のしかた

- 初めて使う前に、レンジ加熱・自動メニュー加熱時に重量センサーを正しく働かせるため下記の操作を行ってください(0点調節)。
- よい仕上がりを保つために、1ヶ月に1回は「0点調節」をしていただくことをおすすめします。



1 庫内に回転台とターンテーブルをセットする

- セットするまでは電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

- 15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから1分以内に「0点調節」をしてください。
- ターンテーブルの上には何も置かないでください。

3 ドアを開閉して表示部に「0」を表示させ、

を押しなが を押す。

- ターンテーブルが回り、約10秒後、表示部に「0d」と表示します。
- 途中でドアを開けたり、1分を過ぎてから操作すると「0点調節」ができません。その際は初めから「0点調節」を行ってください。



4 を押すと「0点調節」が完了

チャイルドロック機能

- お子さまが誤って操作をしないように「チャイルドロック機能」が搭載されています。

チャイルドロック機能を有効にするときは、

を押しながら、 をいっしょに押し続けてください。

- 電子音が鳴り、チャイルドロックが設定されます。

チャイルドロック機能を解除するときは、もう一度上記操作を行ってください。

- 電子音が鳴り、チャイルドロックが解除されます。



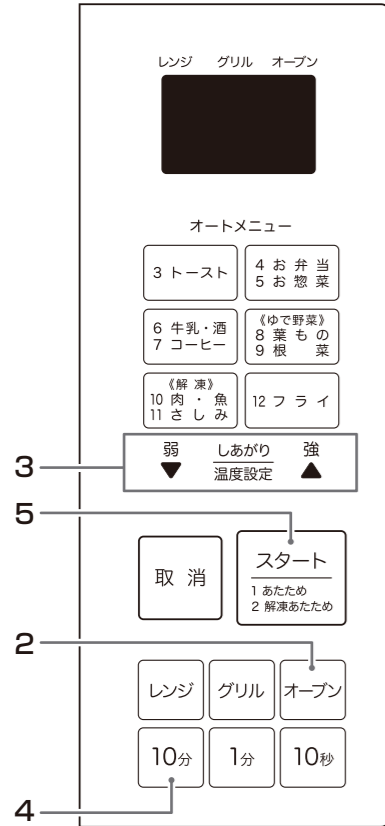
- チャイルドロック時の表示は約5分後に消灯します。表示が消灯した後はドアを開閉し、再度表示を点灯させてから操作を行ってください。
- チャイルドロック機能が有効のときは、どのキーを押しても操作できません。



↑チャイルドロック時の表示

空焼きのしかた

- 初めて使う前に、油やおいを取り除くため空焼きをしてください。
- 換気のために窓を開けたり換気扇を回したりしてください。
- 油の焦げるにおいや煙が出たりすることがありますが、異常ではありません。



1 庫内に回転台をセットする

- ターンテーブルは入れません。

2 オープン を押す

3 弱 しあがり 強 を押して200℃に合わせる

4 10分 を押して時間を20分に合わせる

5 スタート を押す

- 庫内が点灯し、残り時間が表示され、空焼きが始まります。



空焼き終了

- 電子音が5回鳴り庫内等が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りまでするので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから加熱を行ってください。

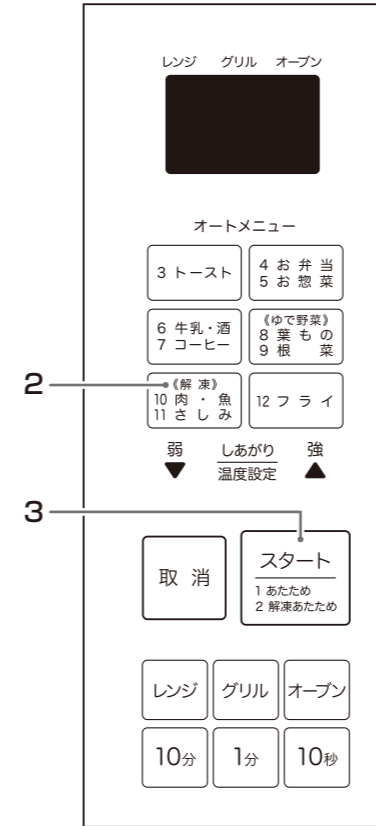
⚠ 注意

- 空焼きは連続して行わないでください。
- 空焼き後に庫内底面に汚れやしみなどが出る場合があります。庫内が冷めてからお手入れを行ってください。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面、回転台が熱くなりますので、注意してください。
- 空焼きをせずに調理を行ってしまった場合でも食品には影響はありません。

使い方 自動メニュー(解凍:肉・魚/さしみ)

●冷凍食品やさしみを分量に合わせて解凍します。

一度に加熱できる分量:「10 肉・魚」100～400g、「11 さしみ」300～500g
※「上手にレンジを使うポイント」(上手に解凍するために…) (26ページ) もあわせてご覧ください。

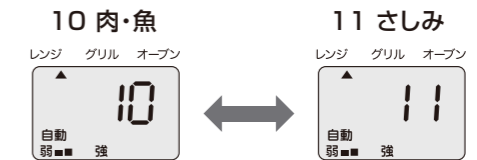


1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 《解凍》 10 肉・魚 11 さしみ を押す

- 1回押すと「10 肉・魚」、2回押すと「11 さしみ」のメニューになります。押すごとに、「10」と「11」が交互に切り換わります。



- 仕上がりを調節したいときは…

加熱時間が1～2割 短くなります。 加熱時間が1～2割 長くなります。

3 スタート を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
約15秒後に残り時間が表示されます。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※解凍が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。
ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。
- 上手く解凍できないときは…
レンジ手動調理(200W)で様子を見ながら解凍してください。(22ページ参照)

⚠ 注意

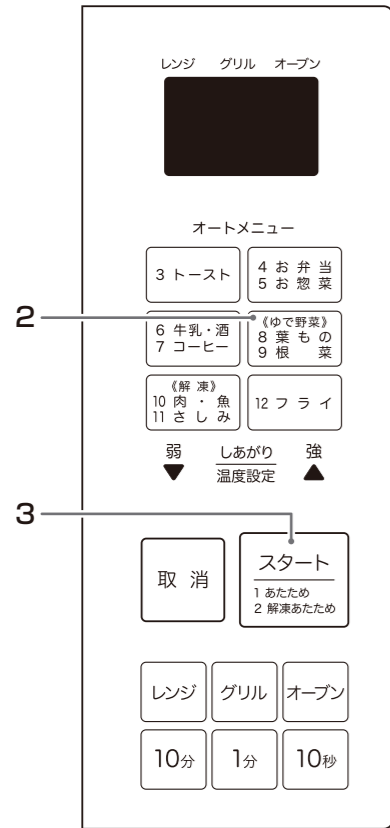
- 発泡トレイを使わない場合は、平らな皿にキッチンペーパーなどを敷き、その上に食品を置いて解凍してください。
- 加熱調理を行った後に解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内を冷やしてから解凍してください。
- 解凍時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 解凍中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの解凍を再開します。
- 解凍中・解凍直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのでやけどに注意してください。
- 解凍後は容器が熱くなっているので、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 解凍終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りまでするので、電源プラグを抜かないでください。

使い方 自動メニュー(ゆで野菜:葉もの/根菜)

●食品の出来上がり具合を検知して加熱調理します。

一度に加熱できる分量:「8 葉もの」100~400g、「9 根菜」100~1000g

※「野菜をゆでるときのポイント」(26ページ)もあわせてご覧ください。

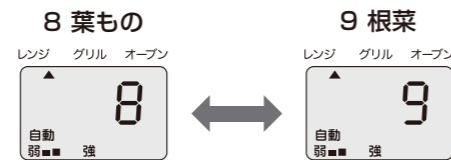


1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 《ゆで野菜》8 葉もの 9 根菜 を押す

- 1回押すと「8 葉もの」、2回押すと「9 根菜」のメニューになります。押すごとに、「8」と「9」が交互に切り換わります。



- 仕上がりを調節したいときは…

加熱時間が1~2割短くなります。 加熱時間が1~2割長くなります。

3 スタートを押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。約15秒後に残り時間が表示されます。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。
- 加熱が足りないときは…
レンジ手動調理で様子を見ながら加熱してください。(22ページ参照)

⚠ 注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているの、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

使える容器・使えない容器

本製品で使用できる容器と使用できない容器があります。ご使用前に下の表をご確認の上、正しくお使いください。誤ってお使いになると燃えるリスクがあります。

容器の種類	レンジ加熱	ヒーター加熱(オープン・グリル)
陶器・磁器 	急加熱、急冷すると割れることがあります。金や銀など、金属を使った模様のあるものは火花が飛び容器を傷めることがありますので使えません。 ○ 使えます	ただし、耐熱性のある陶磁器やグラタン皿などは使えます。 ✕ 使えません
耐熱ガラス 	耐熱性140℃以上のもの、電子レンジ使用可能の表示のあるもののみ使えます。ただし、油分の多い食品などは高温になるため使えません。ふたは耐熱性のないものもありますので表示をご確認ください。 ○ 使えます	ただし、急冷・急熱で割れることがあります。 ○ 使えます
一般ガラス、強化ガラス(耐熱ではない) 	耐熱表示のない一般ガラスや強化ガラス、カットガラスなどは使えません。 ✕ 使えません	✕ 使えません
金属製容器 	電波を反射し、調理が出来ません。 ✕ 使えません	○ 使えます
耐熱プラスチック 	耐熱性140℃以上のもの、電子レンジ使用可能の表示のあるもののみ使えます。ただし、油分の多い食品などは高温になるため使えません。ふたは耐熱性のないものもありますので表示をご確認ください。 ○ 使えます	ただし「オープン、トースト、グリル使用可」の表示のあるものは使えます。 ✕ 使えません
プラスチック(耐熱ではない) 	溶けたり、燃えたりするので使えません。ポリエチレン・フェノール・メラミン・ユリアなども使えません。 ✕ 使えません	✕ 使えません
漆器・竹・紙・木製品 	耐熱性がないので、塗りがはがれたり、ひび割れを起こすことがあります。特に、針金等を使用しているものは発火(スパーク)することがあります。 ✕ 使えません	ただし、オープンシートやクッキングシートは使えます。クッキングシートは熱源に触れたり、250℃より高い温度や250℃で20分を超える使用をすると、シートが燃えることがあります。 ✕ 使えません
耐熱性のあるラップ 	耐熱温度が140℃以上のもののみ使えます。ただし、油分の多い食品などは高温になるため使えません。 ○ 使えます	✕ 使えません
アルミホイル 	電波を反射し、調理が出来ません。ただし、電波を反射する特性を利用して、解凍などに部分的に使うことがあります。 ✕ 使えません	○ 使えます
クッキングシート 	○ 使えます	ただし、シートが熱源に触れたり、250℃より高い温度や250℃で20分を超える使用をすると、シートが燃えることがあります。 ○ 使えます

加熱のしくみ

レンジ加熱

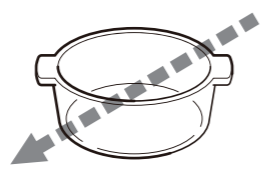
電波(高周波)で食品を内と外から同時に加熱します。

- 電波(高周波)が食品にあたると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

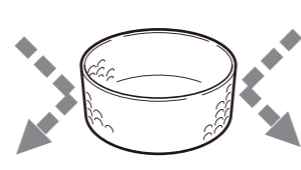
■ 電波の特性



水分のある食品は、吸収されます。



耐久性のあるガラス容器、陶器などは、透過します。

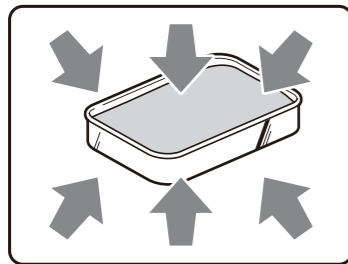


金属製の器などは反射します。

ヒーター加熱

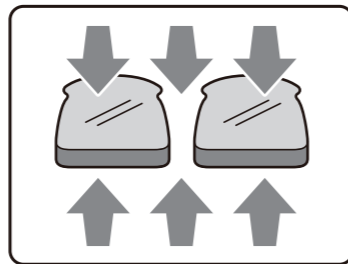
■ オープン加熱

上下のヒーターで庫内全体を加熱し、焼き上げます。



■ グリル加熱

上下のヒーターで庫内全体を加熱し、食品の表面に焼き色を付けます。



レンジ + ヒーター加熱

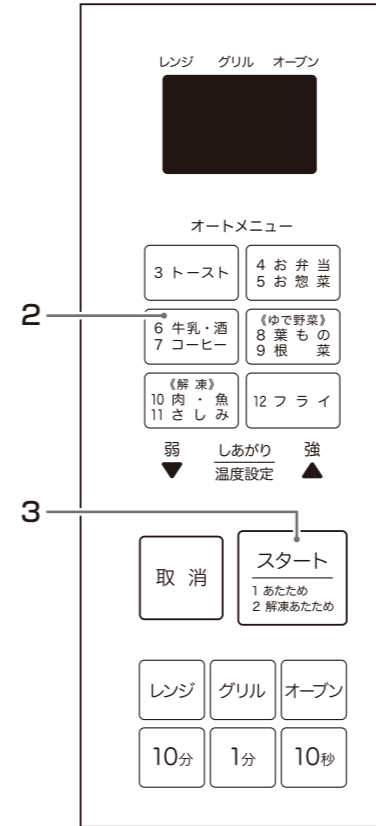
電波(高周波)とヒーターで同時に加熱します。(「12 フライ」メニュー)

使い方 自動メニュー(牛乳・酒/コーヒー)

● 飲み物の分量に合わせて加熱します。

一度に加熱できる分量：1～4杯

- 加熱前の基準温度：「6 牛乳・酒 (冷蔵保存 約 8℃)、7 コーヒー (常温保存 約 20℃)」
- 2杯以上は分量をそろえてください。
- コップは低めの広口容器を使い、容器の8分目まで入れてください。
- 加熱前・加熱後は、必ずスプーンなどでよくかき混ぜてください。

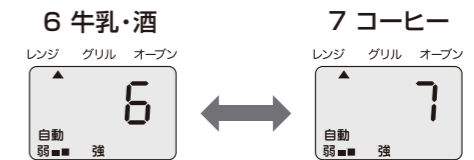


1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 「6 牛乳・酒」または「7 コーヒー」を押す

- 1回押すと「6 牛乳・酒」、2回押すと「7 コーヒー」のメニューになります。押すごとに、「6」と「7」が交互に切り換わります。



■ 仕上がりを調節したいときは…

加熱時間が1～2割短くなります。 弱 ▼ しあがり 温度設定 ▲ 強 加熱時間が1～2割長くなります。

3 「スタート」を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。約15秒後に残り時間が表示されます。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。
- 加熱が足りないときは…
レンジ手動調理で様子を見ながら加熱してください。(22ページ参照)

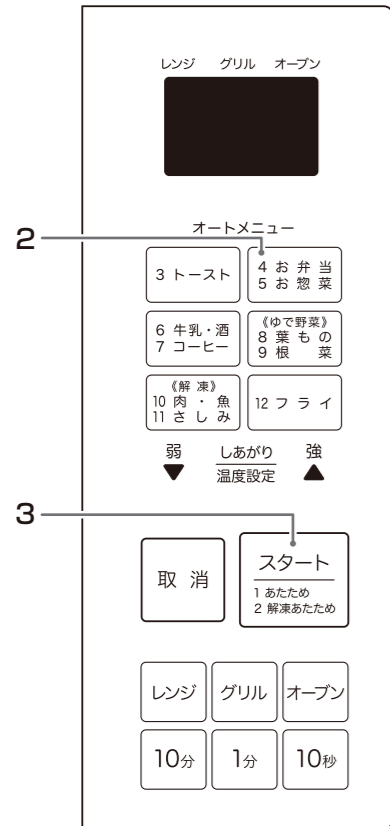
⚠ 注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのでやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているので、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

使い方 自動メニュー(お弁当/お惣菜)

●食品のあたためり具合を検知して加熱します。

一度に加熱できる分量：「4 お弁当」400～700g、「5 お惣菜」300～500g

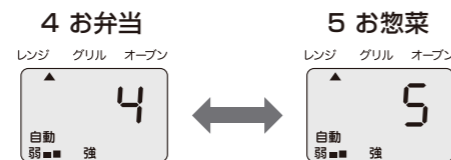


1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 **4 お弁当** / **5 お惣菜** を押す

- 1回押すと「4 お弁当」、2回押すと「5 お惣菜」のメニューになります。押すごとに、「4」と「5」が交互に切り換わります。



- 仕上がりを調節したいときは…

加熱時間が1～2割短くなります。 加熱時間が1～2割長くなります。

3 **スタート** を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。約15秒後に残り時間が表示されます。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。
- 加熱が足りないときは…
レンジ手動調理で様子を見ながら加熱してください。(22ページ参照)

⚠ 注意

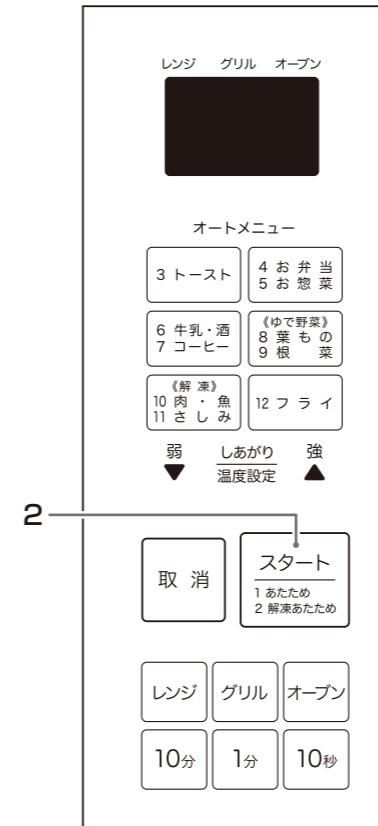
- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているの、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。

使い方 レンジ加熱(あたため/解凍あたため)

●食品のあたためり具合を検知して加熱します。(ご飯やおかずなど)

一度に加熱できる分量：100g～600g

※飲み物は、あたためないでください。飲み物は「6 牛乳・酒、7 コーヒー」キー(18ページ)または、レンジ手動調理(22ページ)であたためてください。

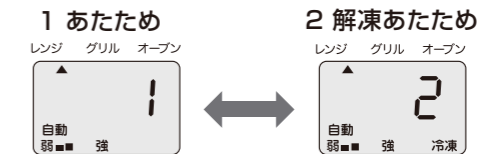


1 ターンテーブルをセットし食品を庫内に入れる

- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 **スタート** を押す

- 1回押すと「1 あたため」、2回押すと「2 解凍あたため」になります。押すごとに「1」「2」が交互に切り換わります。



- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。約15秒後に残り時間が表示されます。

- 仕上がりを調節したいときは…

加熱時間が1～2割短くなります。 加熱時間が1～2割長くなります。

※2の操作後、15秒以内に設定してください。残り時間が表示された後は設定を変更できません。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。
- 加熱が足りないときは…
レンジ手動調理で様子を見ながら加熱してください。(22ページ参照)

⚠ 注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのやけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなっているの、食品を取り出す時はミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。


■あたため(常温、冷蔵食品のあたため) ※冷蔵食品の場合は仕上げ調節で強めで加熱します。

	食品の種類	ラップ	分量	あたためのポイント
ごはん物	ごはん	する	1~4人分 (約150~600g)	かたいときは、水または酒をふりかける。
	どんぶりもの			
	チャーハン			
汁物	コンソメスープ	しない	1~4人分 (約150~600ml)	加熱後は混ぜる。
	ポタージュスープ			表面に膜ができるのを防ぐためにラップをする。 加熱後は混ぜる。
焼き物	焼き魚	しない	1~4人分 (約100~400g)	ソース類は加熱後にかける。 (飛び散りや焦げ付きを防ぐため)
	ハンバーグ			
揚げ物	天ぷら	しない	1~4人分 (約100~400g)	平らな皿に重ならないようにのせる。 仕上げを弱めに調節する。 「12 フライ」キーで加熱する。(P21参照)
	コロッケ			
	とんかつ			
炒め物	スパゲティ	する	1~2人分 (約100~400g)	乾いているときはバターやサラダ油を少量加えて加熱する。 加熱後は混ぜる。
	焼きそば			
	野菜炒め			
蒸し物	シュウマイ	する	1~4人分 (約150~600g)	平らな皿に重ならないようにのせる。 表面が乾燥しないようにラップをする。
	煮物			煮汁があるときは、少し加えて加熱する。 加熱後は混ぜる。
煮物	カレー・シチュー	する	1~4人分 (約150~600g)	深めの耐熱容器に入れ加熱する。 加熱後は混ぜる。

■解凍あたため(冷凍食品のあたため)

	食品の種類	ラップ	分量	あたためのポイント
ごはん物	ごはん	する	1~4人分 (約150~600g)	ラップに包んだまま、皿や耐熱容器に入れ加熱する。
	ピラフ		1~2人分 (約250~500g)	平らな皿にのせ、ほぐして加熱する。
汁物	コンソメスープ	する	1~2人分 (約150~400ml)	深めの耐熱容器に入れ加熱する。 加熱後は混ぜる。
	ポタージュスープ			
焼き物	ハンバーグ	する	1~4個 (約100~400g)	仕上げ調節を強めにする。
炒め物	スパゲティ	する	1~2人分 (約100~300g)	加熱後は混ぜる。
	焼きそば			
蒸し物	シュウマイ	する	10~20個 (約100~300g)	表面が乾かないように、軽く水にくぐらせる。 天ぷら敷紙やキッチンペーパーなどを敷いた皿にのせる。
煮物	カレー・シチュー	する	1~2人分 (約100~400g)	深めの耐熱容器に入れ加熱する。 加熱後は混ぜる。
	酢豚			
その他	さやいんげん	する	約100~300g	耐熱容器に入れ加熱する。
	コーン			


- 冷凍野菜は、少量での加熱はしないでください。(発火することがあります。)
- 市販の揚げ調理済みの冷凍食品は、「12 フライ」で加熱するとカラッと仕上がります。(P21参照)



警告

直接「1 あたため」または「2 解凍あたため」キーを押してあたためる時は100g未満の食品はあたためないでください。

- 発火・発煙のおそれがあります。
- レンジ手動調理で様子を見ながら加熱してください。



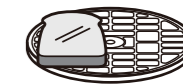
禁止

使い方 自動メニュー(トースト)

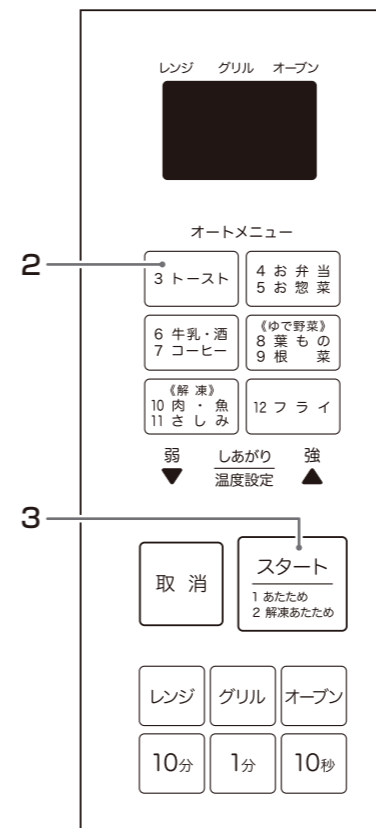
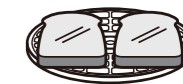
●トーストを枚数に応じて焼きます。

一度に加熱できる分量：1~2枚(4~8枚切り)

例) トースト:1枚



例) トースト:2枚

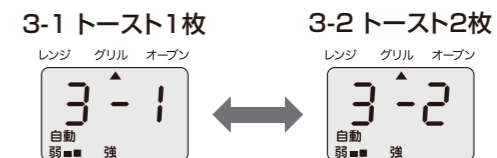


1 ターンテーブルをセットせずに回転台にトーストを置く

- 回転台は外さないでください。
- トーストは2枚まで焼くことができます。
- 待機状態(表示部に何も表示がない)のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 「3 トースト」を押す

- 1回押すと「3-1(1枚)」, 2回押すと「3-2(2枚)」のメニューになります。押すごとに、「3-1」と「3-2」が交互に切り換わります。



■仕上げを調節したいときは…

加熱時間が1~2割短くなります。 弱 しあがり 強
温度設定 加熱時間が1~2割長くなります。

3 「スタート」を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。約15秒後に残り時間が表示されます。



できあがり(加熱終了)

- 電子音が5回鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。ただし庫内温度が高い場合は、10分後に待機状態になります。

■加熱が足りないときは…

グリル手動調理で様子を見ながら加熱してください。(23ページ参照)

注意

- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「スタート」キーを押すと、残りの加熱を再開します。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなっているのでやけどに注意してください。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、約1分間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開け庫内を冷ましてから行ってください。